



岡崎中学校だより

令和5年12月22日 第10号

自由・自律・友愛

一人じゃないから

一年

強く生きたい あの前をもらってからそう感じ始めたのだ
った。

ある日、偶然クラスメイトが引つ込み思案な同級生をからかっ
ているのを見てしまう。わたしはいじめアンケートの『いじめを
なくすには』の欄で「注意する、先生に相談する」と書いたはず
なのにその時、誰かに相談することすらなく通り過ぎてしまっ
た。

いつしか毎度も毎度も、からかう光景を見るようになり、見る
たび比例するかのようにからかいはエスカレートしていった。

「いつ、あのからかいの対象になるか」「あの子は、いったい
どんな思いで」

考えたくもないことを忘れようとするほどこみあげてくる。

転機が訪れたのは、翌日。なぜか対象は、わたしへと変わって
いたのだ。背中に悪寒が走り抜ける。ニヤつきながらからかって
くる。みんなはこれからわたしの悪口を言うの？

周りの視線が怖いよ。

最悪な未来だけが頭によぎる。だれかとめてよ。

ああ、あの子こんな思いしてたんだ。自分があのからかいをと
めようとしなかったことを後悔する。からかいはそばにいる友
達がとめてくれた。わたしもこんな風にとめられたら・・・

その後、対象は他の子へと変わっていた。もう前のように見て
見ぬふりをするのはやめよう。せめて相談だけでもしてみよう。
勇気を振り絞り日記をとおして先生に伝える。

次の日、日記を見た先生がクラスメイトを集め、悪いからかい
をなくすための会議を開いてくれた。みんなは様々な意見を言い
合っていく。

悪質なからかいに対してこんな思いでいたんだ。わたしだけではな
かった。この先生がくれた時間をきっかけに勇気をもらい、立ち向かう。
わたしは気づいたんだ。直接、注意することができなくても皆の視線と
思いで注意できると。そしていじめや悪質なからかいをなくすには周り
の協力が必要だと。

そういうことなんじゃない？

一人でできなくとも皆の意見や視線でへらすことができるんだ。自分
は一人でないと思わせてくれた。わたしは強く強く生きていきたい。わ
たしは前を向き歩いていく。

いじめをなくすことはすごく難しいことだけど、なくさない限り心に
傷を負う人は増えていく。ある問題に対して皆が考えることでたくさん
の笑顔が守れると思う。

「いじめをなくそう」という気持ちでこの先、一生大切にしていきた
い。経験したから学んだからこそ・・・

皆さんは人生をどう生きたい？人生は一度つきり。だからこそしつ
かり考えてみようよ。

今回紹介した作文は、「第73回
社会を明るくする運動」左京区作
文コンテストで見事に入賞した本
校1年生のものです。

皆さんの周囲には“いじり”“か
らかい”で傷ついている人はいま
せんか？ 今回の作文を読んで、
「自分がされて嫌なことは、誰に
対しても絶対にしない」「勇気を出
して行動に移す」ということの太
切さに改めて気づかされました。

まもなく2023年も終わります
が、来年も岡崎中学校の生徒全
員が豊かな心でお互いを大切に
して毎日を過ごしてくれることを
楽しみにしています。

後期 岡中週間 お疲れ様でした

先月の認証式を経てスタートした新しい生徒会組織としての初仕事、生徒会一斉取組企画「岡中週間」が、前半12月4日(月)～1週間・後半12月11日(月)～1週間の2週にわたって、生徒議会・専門委員会ごとに特色のある取り組みが行われました。委員の生徒たちは自分の役割に誇りと責任をもって取り組んでいましたし、周囲の仲間たちがそれぞれの企画に全面的に協力している姿が印象的でした。生徒自らが作り上げる岡中の一体感が実感できたことが嬉しいと同時に頼もしく感じた2週間でした。



1月行事

日	曜	主な行事等	日	曜	主な行事等
1	月	元旦	16	火	
2	火	学校閉鎖日	17	水	
3	水	学校閉鎖日	18	木	3年生 第5回テスト①
4	木		19	金	3年生 第5回テスト②
5	金	3学期始業式 部活動なし	20	土	
6	土		21	日	
7	日		22	月	
8	祝	成人の日	23	火	1・2年学習確認プログラム
9	火		24	水	1・2年学習確認プログラム
10	水		25	木	3年生面接練習
11	木	生徒議会・専門委員会	26	金	
12	金	避難訓練	27	土	
13	土		28	日	
14	日		29	月	
15	月		30	火	
			31	水	

お知らせ

令和5年12月27日(水)～令和6年1月3日(水)は全市統一学校閉鎖日となります。



家庭科部が作ってくれた可愛いXmas ツリー